

恋の場外乱闘

30歳目前。もう手段は選ばない。恋愛成就を求めて奔走する、覆面ライダーの顛末は...

「うさん臭〜」とこれだけは歌っていた「ねるとんバレー」。だが、「誰つぶち」の私はゼータクなんぞ言えませぬ。とりあえず「男28〜38歳、女26〜38歳、会話重視タイプ」ちゅーん〜をヤツに挑戦してみた。

ザツねるとん編



電話申込みの時にケータイ以外に家のTEL番と住所も聞かれた。「トラブル防止のため」って本当かよ。ますます不信に思ったが乗った船。当日、これまたうさん臭い雑居ビルの一室に行くと、楢村にイスが並んでた。来ていたのはまだ4人くらいで、いずれも女のこ。



ずっ〜と女子高で、おさげとメガネと詩集で過ごしたような人。ちーとトウがたったOL風な。男の方もぼろぼろ来始めるが、どうにもバツとしない。權め付けはパープルサンガのTシャツにS A T Yの袋のオッサン! なんだかもう、顔をあげることができないっ。



総勢24名のヘンな集団。この場が「UFOを呼ぶ会」とかだったら、もっと気が楽だったろう。流れ作業的に彼らと1分ずつ会話をしたあと、印象が良かった5人にカードを渡す。経いて10分ほどのフリータイム。とりあえず隅りに座ってたスーツの男のことお話した。



小さいけど広告代理店に勤めてるといふ。あながち悪い業界でもないし、最後に渡すカードの欄に彼の番号を書いたら、なんとカップルになってしまった。「う〜ん、コンビニエンス!」。簡単なな。こんな簡単にカップルになってええんか? ま、とりあえず「まずはメル友から」...

紙一重を行き来するまかない&新メニュー 祇園ワーカーが選ぶ

祇園にあつて食い倒れそうが飲み倒れそうが、恐ろしい結末は招かない良心的バーにてまかないの儀が始まるのは、23時から24時あたり。それはちょうど終電時間のメカニズム。サラリーマンの波が去り、仕事を終えたお姉さんや若娘はんの登場の前に、店長がバイト君のために「適当に」作る夜食を拜見。こ飯の上にレタスのクッション、その上に乗った鶏肉のピリ辛炒めがのっかる。刻んだ野菜や昆布のブイヨン濃厚なスープや自家製おからを前に、店長の料理領域の広さに脱帽。これは一つ世のため人のため、まかない止まりは阻止したいと提案すると「材料があれば何でも作りますよ」との喜ばしい返事。実はそんなわがままオーダーは深夜の茶飯事らしく、変わった注文の方が料理魂に突が点くのだとか。敷居の低い祇園のバーなれど、お客の望みに応える志の高さは見上げたもんだし。



鶏肉のピリ辛炒め丼、野菜と昆布を煮込んだスープ、おから入り、おからの3品

ロコミ情報カタログ

京都のINGを CHECK IT OUT!!

編集長の 今目の 変言変語



「ウマイっす」と叫んだっさり、茶碗を離さないバイトの横顔。大クシ、ロン毛でうさん臭かったボクを驚かせてくれて、感謝してマス

●Daddy's Depot
タディース・デポ
京都市東山区四條橋上ル タップビル4F
TEL 075-525-2908 18:00~翌5:00 (7F~8F.L.O.翌4:00)
日祝 18:00~翌1:00 (7F~8F.L.O.翌2:00) / 第2日・月休

川橋通 橋下通 高木町通 四條通

チーズの風味がしっかりと、奥さんのお手製、一口サイズの「チーズケーキ」は平日は必ず入る限定番

「ハンバーグ」はデミグラスにマスタードソースのアクセント、しっとり柔らかな口当たり

衣はサクサク、中身はジューシーな「チキンカツ」にはご自慢の手作りイタリアントマトソースがたっぷり

京町通 三條通 烏丸通 六角通

お目当ては伊賀日? メニューチェックで週のはじまり

月曜日、店頭で一週間分のメニューが張り出される。2年前のオープン以来、毎週メニューを考え、毎日それを形にしていくな。[美味しいうって喜ぶ顔]が一番だから「薬をしようと思わない」、とカリテの基本。野菜の煮込みを食べれば姿は見せないセロリの風味、フレッシュトマトを使ったソースは爽やかに抜けるパズルの香り。全て仕込みからしっかり手が掛けられていることが一口ごとに伝わって

お持ち帰りカリテ弁当580円

レストラン qualite
カリテ
京都市中京区室町通三条下ル
烏帽子屋町478-1
TEL 075-255-0084
11:00~21:00
土日11:00~15:00 / 無休
電話予約 可 デリバリー 可 イートイン 可

【その他メニュー】
日替わりランチ 700円
手作りハンバーグ 800円
手作りステーキ 800円
ピネカツカレー 800円

思いつきは立派な一歩 あとは前進あるのみさ、人生もフリペも Fun Cafe



ほぼ1.5ヶ月に一回発行
●問い合わせ先 Brownish Hat Plan to4hisa@fainet.or.jp
http://homepage.mac.com/brownishhatplan/
●配布先 (京都)太閤カフェ cafe vor clar JET-SET
(大阪) SYFT RECORDS SESTA RECORD Cafe&Bar "Merirba" VELVET MOON etc.

フリペ作りをする友人に刺激され、半ば実験的に作り始めた「Fun Cafe」。創刊号の構想から発行を一週間でやってのけたのは、熊木氏なる青年。仕事が早けれど、妥協は許さず、自身に締め切りを課し、幾度となく読み直しをする完璧主義者。その紙面は行き当たりばったりの特集。百枚を越える所蔵CDからの音楽紹介、社会派コラム、コンビニグルメ調査など、興味の範囲も超ワイド。特集では、ある時は散歩好きな彼が「歩け歩け大会」と名付けて大阪・吹田市から奈良市まで歩き倒したルポ、またある時はフリペの作り方をイチから教えてくれたりも、無から生み出すためのキーが鈴なり状態

一人で作る「Fun Cafe」の傍ら、複数名のユニットで「B-P PRESS」というフリペも手がけるとは、かなり量産のフリペ中高と見受けらる

